

# カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

25-22-12-091-027

A. バックオフィス	091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解
システム導入	

コースのねらい	企業を取り巻く現状及び動向を理解し、生産性向上を目指したIT活用に向け、業務に必要なハードウェアやソフトウェアについて理解する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日	時刻
講義内容	1 ITとビジネス	<p><b>(1) 企業活動と技術開発戦略の立案【演習あり】</b> 企業が競争力を確保するために、AIやIoTなどの最新技術が技術動向予測に基づいて作成されたロードマップに沿って技術開発が推進されていることについて解説する。 【演習】IT活用が必要な業務と自社の課題 ・IT活用の目的となる課題を整理し、グループで共有を実施する。</p> <p><b>(2) ITシステムの概要・企業における有効活用【演習あり】</b> 製造や小売などの事業領域で利用されている代表的なITシステムの特徴や考え方やテレワークに使えるツールや考え方、事例などを理解する。 【演習】経験や勘で判断している業務と判断材料の整理 ・グループワークで整理を行う。</p> <p><b>(3) DXの概要と課題【演習あり】</b> DX(デジタル・トランスフォーメーション)の概要を踏まえた上で、DXを推進する上で課題となっている「IT負債」と、その解決策について解説する。 【演習】気にある・関心のあるITツールの調査 ・グループワークで目的に合うようなITツールを洗い出す。</p>	2.0		
	2 業務に必要なハードウェアの選択と適用	<p><b>(1) コンピュータで扱うデータと構成要素【演習あり】</b> コンピュータの基本構成と、その構成要素となるプロセッサ、メモリ、入出力デバイスの特徴について理解する。また、システム構成と評価方法に打ちて理解する。 【演習】必要なデータと監視のポイント ・ケーススタディをグループワークで考察する。</p> <p><b>(2) IoTの概要と役割、構成要素【演習あり】</b> IoTがもたらす世界観を踏まえて、IoTデバイス、IoTセンサー、クラウド等のIoTの構成要素と各IoTデバイスの役割を理解する。コンサルティング事例をもとにIoTシステム構築のプロセスについて解説する。 【演習】自社の形式知と暗黙知の洗い出し</p> <p><b>(3) IoTネットワークの構成要素と活用【演習あり】</b> IoTの要となるモバイル通信システム構成要素とモバイル通信技術を理解した上で、活用事例をもとに、5Gがもたらすビジネス・モデルの変革について解説する。 【演習】IoT化シミュレーション ・IoTの構成についてグループワークで作成する。</p>	2.0	令和7年 11月21日(金)	9:30~16:30 昼休憩 12:00~13:00
	3 構成するソフトウェアとライセンス	<p><b>(1) OSとアプリケーション【演習あり】</b> OSの種類、特徴、機能など基本的な知識について理解する。 また、ビジネスソフトウェア、オープンソフトウェアの種類と概要について理解する。また、ライセンス管理の考え方についても解説します。 【演習】データ活用のポイント整理 ・グループワークで整理する。</p> <p><b>(2) オープンソースソフトウェア・ノーコード開発ツール【演習あり】</b> プログラミング不要でアプリケーションの開発ができるノーコード開発ツールについて解説します。社内にプログラマーがいなくても自社アプリケーションの開発が可能になります。 【演習】社内内製化の注意点 ・グループワークで3つの視点で注意点を整理する。</p> <p><b>(3) 生成AI活用のポイント【演習あり】</b> ・Chatgptに代表される生成AIのしくみと出来ることを解説・実演し、受講者の業務における活用イメージを具体化します。 ・文章の作成にとどまらず、業務における日報形式での報告書の作成などプロンプトを活用したデモンストレーションを行います。 【演習】生成AI活用シミュレーション ・グループワークで課題と活用についてまとめる。</p>	2.0		
			合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント	働く環境の変化や日本の現状、活用できるITテクノロジー、DXの最新動向を理解した上で、身近な課題と照らし合わせながらIT活用するための知識習得を図ります。一方的な知識ではなく、双方向や演習を通じて、現場で実践活用できるようになるための演習を挟みます。
---------------	---